

(公財)福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

福岡県内の青年10名をメキシコへ派遣しました

メキシコ合衆国へ2月23日から3月5日の日程で福岡青年派遣プログラムの青年らを派遣しました。青年たちは、やや緊張した面持ちで福岡を出発しましたが、現地のメキシコ福岡県人会の皆様から温かい歓迎を受け、意欲的にプログラムに臨むことができました。

滞在中は、在メキシコ日本国大使館表敬訪問や、日墨会館で移住の歴史を学び、専門学校やマツダ自動車工場など、日系人や日本人が働く施設や企業を見学しました。自分たちの目で見たり、生の声を聞いたりすることで、メキシコに関するさまざまなことを学びました。また、県人会の皆様、ホストファミリー、グアナファト大学の学生など多くの方々と交流し、お互いの国やルーツ、家族などについて沢山のことを語り合い、大変充実した時間を過ごしました。

これらの貴重な経験を通して、青年たちが、今後、福岡県と海外県人会との懸け橋となって活躍してくれることを大いに期待します。



(メキシコ福岡県人会主催の歓迎会にて)



(テオティワカンピラミッドの頂上で) (グアナファト大学での交流)

県費留学生8名が1年間の留学生生活を修了



(1年間みんなで協力して頑張りました)

福岡県移住者子弟留学生8名が、1年間の留学生生活を終え、帰国の途に着きました。この留学期間中に、それぞれの専門分野を学ぶかたわら、さまざまな日本文化に触れ県内各地の行事やお祭りなどにも参加しました。

3月16日の留学証書授与及び送別会では、ご指導いただいた学校の先生や関係者の方々をお招きして、彼らが、福岡で学んだことや思い出などを発表しながら、出席者とともにこの1年間をなつかしく振り返りました。彼らの今後の県人会での活動を期待します。

※留学生の報告書(日本語のみ)は、当センターウェブサイトに掲載しています。日本語のトップページで「子弟留学生」と検索してください。

世界で活躍する福岡県人による講演会を開催

本県の若者のグローバル化を図るため、世界で活躍する福岡県出身者を講師としてお迎えし、さまざまなテーマによる講演会を始めて5年目になりました。

今回は、南加福岡県人会の堀 隆行氏(米国弁護士・公認会計士)にお越しいただき、2月20日に堀氏の母校である筑紫丘高校(福岡市)と、翌21日は戸畑高校(北九州市)で、ご講演いただきました。

両校あわせて1,400名を超える高校生たちを前に、ご自身が渡米されたきっかけや、米国で専門資格を取得するまでの努力や現在に至るまでの苦労、そして海外で働くことの素晴らしさなど、学生たちへ熱いメッセージを送られました。

今回の講演をとおり、一人でも多くの若者たちが、世界へ向け大きく飛躍して行ってほしいと思います。



(戸畑高校での講演)



(筑紫丘高校での講演)